

県政調査計画書

令和元年7月2日

県議会議長 梅沢 裕之 殿

会派名 かながわ県民・民主フォーラム神奈川県議会議員団

団長名 近藤 大輔

(署名又は記名押印)

県政調査を次のとおり計画しましたので、よろしくお取り計らいください。

1 調査議員	(調査団長) 近藤 大輔 (団 員) 曾我部 久美子 くさか 景子 長友 よしひろ 青山 圭一 石川 裕憲 京島 けいこ 佐藤 圭介
2 調査目的	(1) みんなが共生するコミュニティ拠点づくりの取組や、(2) SDGs 推進に向けた取組、(3) 自動運転の実用化に向けた取組、(4) 生物文化多様性の包括的な保全についての取組を調査することにより、本県における施策展開の参考とする。
3 調査期間	令和元年8月5日～令和元年8月6日
4 調査地	石川県
5 調査項目	(1) B's行善寺 社会福祉法人佛子園が運営する「B's行善寺」は、グループホーム、高齢者デイサービス、就労継続支援A型・B型、児童発達支援施設、放課後等デイサービス、保育園、クリニック、天然温泉、温水プール、レストランなど様々な施設が一つに集まり、そこに障がい者、高齢者、子ども、地域住民らが集う、みんなが共生するコミュニティ拠点づくりを展開している。これらの取組を調査することにより、本県における共生社会の推進施策の参考とする。



- (2) 金沢工業大学SDGs推進センター  
 金沢工業大学は、全学でSDGsを採り入れた教育を行っており、第1回ジャパンSDGsアワードSDGs推進本部長（内閣総理大臣）賞を受賞した。平成29年12月に日本で初めて大学が設立したSDGs推進センターでは、SDGsに関する研究、SDGs教育の推進、SDGsビジネスに関する取組を行っている。これらの取組を調査することにより、本県におけるSDGs推進施策の参考とする。
- (3) 金沢大学  
 金沢大学では、車載センサーやコンピューターを駆使し、自動車の自動運転の実用化に向けた研究を行っており、平成27年には石川県珠洲市で、国内の大学としては初めてとなる市街地での自動運転実験を実施し、今後は金沢市中心部や東京都臨海部でも走行実験を行う予定である。これらの取組を調査することにより、本県におけるロボット産業の推進施策の参考とする。
- (4) 国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティングユニット  
 国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティングユニットは、石川県と金沢市が国連機関と共同で設立・運営しているユニークな機関であり、生物多様性の保全と地域の伝統文化の関係及びその包括的な保全に関する研究等を実施している。これらの取組を調査することにより、本県における生物多様性の保全施策及び文化振興施策の参考とする。

6 経費の概算額	<table border="0"> <tr> <td>一人当たりの議員経費</td> <td>61,610円</td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>    交通費</td> <td>39,790円</td> </tr> <tr> <td>    宿泊費</td> <td>16,500円</td> </tr> <tr> <td>    視察研修費</td> <td>5,080円</td> </tr> <tr> <td>    雑費</td> <td>240円</td> </tr> </table>	一人当たりの議員経費	61,610円	内訳		交通費	39,790円	宿泊費	16,500円	視察研修費	5,080円	雑費	240円
一人当たりの議員経費	61,610円												
内訳													
交通費	39,790円												
宿泊費	16,500円												
視察研修費	5,080円												
雑費	240円												

\* 日程表を添付する。



## 県政調査日程表

日	月日(曜)	調査地	現地時間	交通機関 (所要時間)	調査箇所及び調査内容
1	8月5日 (月)	石川県 白山市	午前	公共交通機関等	移動(東京駅→金沢駅)
			午後	公共交通機関等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ B's行善寺</li> <li>・ みんなが共生するコミュニティ拠点づくりについて</li> </ul>
		石川県 野々市市	午後	公共交通機関等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 金沢工業大学SDGs推進センター</li> <li>・ SDGs推進に向けた取組について</li> </ul>
<金沢市内泊>					
2	8月6日 (火)	石川県 金沢市	午前	公共交通機関等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 金沢大学</li> <li>・ 自動運転の実用化に向けた研究について</li> </ul>
		石川県 金沢市	午後	公共交通機関等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国連大学サステイナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティングユニット</li> <li>・ 生物文化多様性の包括的な保全について</li> </ul>
			午後	公共交通機関等	移動(金沢駅→東京駅)

## 県政調査計画審査結果

県政調査計画について審査したところ、結果は次のとおりでした。

調査実施議員名	(調査団長) 近藤 大輔 (団 員) 曾我部 久美子 くさか 景子 長友 よしひろ 青山 圭一 石川 裕憲 京島 けいこ 佐藤 圭介
---------	--

## 1 要領2(1)の基準への適否

区 分	調査の基準	計画の内容	適否
①調査経費	議員1人当たり 100万円以内	議員1人当たりの経費は61,610円であり、基準を満たしている。	適
②調査箇所	1日につき午前 及び午後それぞれ 1箇所以上調査 実施移動日は 1箇所以上調査 実施	移動日について1箇所以上、調査を実施する行程となっている。	適

## 2 調査計画に対する審査所見

区 分	所 見
①調査の実施が 県政課題解決の 一助となるか。	<p>(1) B's 行善寺 社会福祉法人佛子園が運営する「B's 行善寺」は、グループホーム、高齢者デイサービス、就労継続支援A型・B型、児童発達支援施設、放課後等デイサービス、保育園、クリニック、天然温泉、温水プール、レストランなど様々な施設が一つに集まり、そこに障がい者、高齢者、子ども、地域住民らが集う、みんなが共生するコミュニティ拠点づくりを展開している。本県でも、ともに生きる社会かながわの実現など共生社会の推進やコミュニティ再生に取り組んでおり、B's 行善寺の取組を調査することは、県政課題解決の一助となるものと認められる。</p> <p>(2) 金沢工業大学SDGs推進センター 金沢工業大学SDGs推進センターでは、SDGsに関する研究、SDGs教育の推進、SDGsビジネスに関する取組を行っている。本県でも、本年4月にSDGs推進課を立ち上げ、「かながわグランドデザイン第3期実施計画(案)」</p>

	<p>では、SDGsの理念を座標軸に据えるなど、SDGsの推進に取り組んでおり、SDGs推進センターの取組を調査することは、県政課題解決の一助となるものと認められる。</p> <p>(3) 金沢大学  金沢大学では、車載センサーやコンピューターを駆使し、自動車の自動運転の実用化に向けた研究を行っている。本県でも、さがみロボット産業特区における、実用化が期待される生活支援ロボット開発の重点プロジェクトとして、「自動運転技術を装備した自動車」が位置付けられており、金沢大学の取組を調査することは、県政課題解決の一助となるものと認められる。</p> <p>(4) 国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティングユニット  国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティングユニットは、生物多様性の保全と地域の伝統文化の関係とその包括的な保全に関する研究等を実施している。本県でも、「かながわ生物多様性計画」に基づき生物多様性の保全に取り組むとともに、「かながわ文化芸術振興計画」により伝統文化の振興に取り組んでおり、国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティングユニットの取組を調査することは、県政課題解決の一助となるものと認められる。</p>
<p>②調査の実施時期が時宜を得たものか。</p>	<p>今回の調査対象項目は、どれも本県の重点施策と関連したものであり、本調査により先進的な取組や事例を調査することは時宜を得たものである。</p>
<p>③現地に赴かなければ調査目的が達成できないものか。</p>	<p>それぞれの分野において、今後の本県における施策の取組に活かして行くためには、現地に赴き、現地の職員から、事業内容やその成果について、具体、詳細に調査及び聴取しなければ調査目的が達成できないものである。</p>
<p>④調査箇所、行程、経費等は妥当なものか。</p>	<p>調査箇所、行程、経費等は県政調査実施要領の基準を満たしており、妥当である。</p>